

OPT-STCB01(オプション)
インストールガイド

この度は、お買い上げいただきましてありがとうございます。
OPT-STCB01 は、FXC9024XG/FXC9324XG 専用スタックケーブルです。

このインストールガイドには、事故を防ぐための重要な注意事項と本製品を使う前の必要な準備について説明しています。まず、この取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に製品をご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

製品を安全にお使いいただくため、必ず最初にお読みください。

警告 安全のために、必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。
- 故障したら使わない
すぐに販売店まで修理をご依頼ください。

- 万一異常が起きたら
・煙が出たら
・異常な音、においがしたら
・内部に水・異物が入ったら
・製品を高所から落としたり、破損したとき

- ➡
- ① 電源を切る(電源コードを抜く)
 - ② 接続ケーブルを抜く
 - ③ 販売店に修理を依頼する

警告 下記の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

- 電源ケーブルや接続ケーブルを傷つけない
・電源ケーブルを傷つけると火災や感電の原因となります。
・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
・加工したり、傷つけたりしない。
・熱器具の近くに配線したり、加熱したりしない。
・電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- 内部に水や異物を入れない
火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り(電源ケーブルを抜き)、販売店に点検・修理をご依頼ください。

- 内部をむやみに開けない
本体及び付属の機器(ケーブル含む)をむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
- 落雷が発生したらさわらない
感電の原因となります。
また、落雷の恐れがあるときは、電源ケーブルや接続ケーブルを事前に抜いてください。本機が破壊される原因となります。
- 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない
本書に記載されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。

注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与える原因となります。

- めくれた手で電源プラグやコネクタに触らない
感電の原因となります。
- 指定された電源コードや接続ケーブルを使う
インストールガイドに記載されている電源ケーブルや接続ケーブルを使わないと、火災や感電の原因となります。
- 指定の電圧で使う
インストールガイドに記載されている電圧の範囲で使わないと、火災や感電の原因となります。

- コンセントや配線器具の定格を超えるような接続はしない
発熱による火災の原因となります。
- 通風孔をふさがない
通風孔をふさいでしまうと、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。また、風通しをよくするために次の事項をお守りください。
・毛足の長いジュウタンなどの上に直接設置しない。
・布などでくるまない。
- 移動させるときは、電源ケーブルや接続ケーブルを抜く
接続したまま移動させると、電源ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。

■ 制限事項

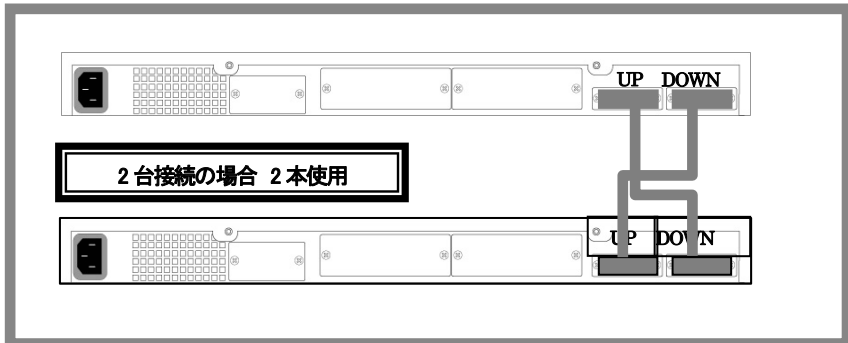
1. ハードウェアスタックの最大接続台数は8台までとなります。
2. 各製品のハードウェアスタック機能は、下記バージョンからサポートされています。

FXC9024XG	
Loader version.	: 1.0.0.5
BootROM version.	: 1.0.0.9
Operation code version	: 2.3.0.20

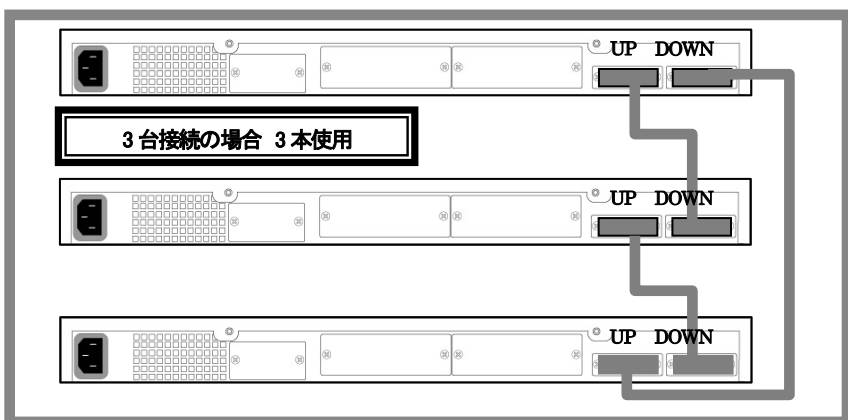
FXC9324XG	
Loader Version	: 1.3.2.4
Operation Code Version	: 1.2.3.34

3. ハードウェアスタック機能を利用する場合、スタックグループを構成する各機器で Loader version, BootROM version, Operation Code version の各 version(上記各バージョン)が統一されている必要があります。
4. ハードウェアスタックを構成した場合、スタックグループを構成する各機器で Master UNIT は下記の順で決定されます。
①前面の Master/Slave ボタンが押下されたスイッチ
②スタックグループ内のスイッチで MAC address が最も小さいスイッチ
5. スタックグループ内のマスタスイッチで下記コマンドを発行してください。
これにより、グループ内マスタ/スレーブの再構成が行われます。
Console#reload
6. さらに、スタックグループ内のマスタスイッチで、下記のコマンドを発行してください。
これにより、各スイッチの UNIT 番号がリセットされます。
Console#switch all renumber
7. スタックされたスレーブスイッチが再起動された場合、起動時にインタフェース設定内に「no rmon collection history contrlEntry xxx」と表示される場合がございますが動作に問題はございません。

■ 接続イメージ図



スタック接続後、全面の Master/Slave ボタンが押下されたスイッチが Master になります。



■ 製品保証およびユーザサポート

製品の保証内容に関しては添付されている「保証書」、「保証規定」をよくお読みください。
また、テクニカルサポートにつきましても、添付されている「テクニカルサポートのご案内」をお読みください。

- 本インストールガイドは、FXC 株式会社制作したもので、全ての権利を弊社が所有します。
弊社に無断で本書の一部、または全部を複製転載することを禁じます。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますが、ご了承ください。
- インストールガイドの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不明な点がございましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。